

# CASBEE<sup>®</sup> 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	明治 京都工場 PD棟増築工事	階数	地上3F
建設地	京都府京田辺市大住立原1の1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、指定なし	平均居住人員	10人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,500時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年10月 予定	評価の実施日	2014年3月24日
敷地面積	88,080 m <sup>2</sup>	作成者	半田昌樹
建築面積	1,397 m <sup>2</sup>	確認日	2014年3月24日
延床面積	3,720 m <sup>2</sup>	確認者	半田昌樹

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	82%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.0	Q2のスコア = 3.0	Q3のスコア = 2.7
音環境: 3.0, 湯熱環境: 3.8, 空気質環境: 2.0	機能性: 2.6, 耐用性: 2.8, 対応性: 3.9	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 3.0

**LR のスコア = 3.5**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.0	LR2のスコア = 3.1	LR3のスコア = 3.2
建物の: N.A., 自然エネ: 3.5, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 3.0, 汚染物質: 3.6	地球温暖化: 3.7, 地域環境: 3.3, 周辺環境: 2.7

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
工場立地法に規定されている緑地面積を確保すると共に、できるだけ敷地周辺に緑地を配置し周辺環境へ配慮している。外壁については断熱パネルを使用し外部への熱的影響を低減している。	0
<b>Q1 室内環境</b> 仕上げ材は全て★★★★を使用する。	<b>Q2 サービス性能</b> バリアフリーに対応しており、内装仕上げもリニューアルしやすい壁は塗装仕上げとしている。
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 工場立地法で規定されている緑地面積を確保している。	
<b>LR1 エネルギー</b> LED照明の採用を行い、省電力化を行っている。太陽光発電設備の設置。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 躯体及び仕上げ材の分離を行い対応する。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 工場立地法に定められた緑地面積を確保し、敷地外への熱的影響を低減している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される